

11月23日（金・祝）
いい夫婦の日男女共同参画講演会
ヴァイオリニスト 益子 侑 トーク&コンサート
～人を幸せに、音を楽しむ～

坂東郷土館ミュージアムにて、ヴァイオリニストの益子 侑さんによる講演会が行われました。



生き活きと夢を語り、前向きに取り組んでいる姿はとても素敵でした。ヴァイオリンの演奏も素晴らしく、ギター、ピアノとのセッションや地元の高校生とのコラボなど、楽しく心温まるひと時を過ごさせていただきました。

今回はいい夫婦の日に合わせての開催でしたが、来場者の8割が女性でしたので、今後男性の参加が増えることを期待します。

蜻原 幸枝

平成31年2月10日（日）～3月3日（日）
第4回坂東ひな飾り展

各構成団体と力を合わせ、今年も盛大にひな飾り展を秀緑、坂東郷土館ミュージアム、市街地活性化センター、ホテルグリーンコア坂東などで開催しました。

今年のテーマは「花と鳥」と題し、梅、桜、うぐいす、鳩を作り、七宝まり、椿、お茶の花、坂東の野菜シリーズと共に展示しました。

新企画の梅花ストラップワークショップは、小学生から好評でした。二分咲きの桜の下、甘酒を飲みながらのどかな春の日を楽しめたと思います。



仙田 良江

編集後記

新しい年度に入り、会報編集委員も新メンバーでスタートしました。何分にも不慣れな私たちですが、「ばんどう市女性団体協議会の活動」を少しでも多く皆さんに伝えられるよう、皆さんに寄り添う『ぱーとなー』として頑張りますので1年間よろしくお願いいたします。

最後に、今回の発行に際し、ご協力いただきました事務局をはじめ皆様方に、厚くお礼申し上げます。

会員募集中！

各団体の問合せ等詳しくは、坂東市役所市民協働課 (Tel.0297-21-2183) へ。個人でも入会可。

6月27日（水）
男女共同参画社会づくりに向けての全国会議

走り出せ、性別のハードルを超えて、今



男女共同参画社会づくりに向けての全国会議が、東京国際フォーラムホールにて開催されました。

平成30年度のスローガン「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」から始まり、野田聖子女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣（男女共同参画）の主催者挨拶、基調講演により開会しました。また、元プロテニスプレーヤー 杉山 愛さんから力強い特別応援メッセージがあり、会場は大いに盛り上がりました。全国の団体の発表と表彰があり、感動しました。有意義な全国会議でした。

針替 春乃

9月22日（土）
ホコテンバザー
宝物市



ぱーとなー

ばんどう市女性団体協議会 会報

Vol.13

《目的》 私たちは、市内の女性団体が相互に連携・協力することにより、構成団体の一層の活動強化並びに男女共同参画を推進することを目的とする。～規約第2条より～

いい夫婦の日男女共同参画講演会



視察研修



国立女性教育会館(埼玉県嵐山町)



原爆の図 丸木美術館(埼玉県東松山市)

構成団体 (連絡先)

坂東市女性フォーラム Tel 090-3048-2586

坂東市更生保護女性会 Tel 0297-35-1470

坂東こども劇場 Tel 0297-36-3504

ガールスカウト茨城県第8団 Tel 0297-30-5171

坂東市交通安全母の会 Tel 0297-21-2180

坂東市地域女性団体連絡会 Tel 0297-21-2204

☆ 平成30年度「ばんどう市女性団体協議会」主な事業 ☆

5月 総会

6月 男女共同参画社会づくりに向けての全国会議参加

8月 視察研修 県女性団体等人材育成研修会・交流会参加

9月 ばんどうホコテン参加

10月 市長懇談会

11月 いい夫婦の日男女共同参画講演会 県女性団体連盟「連盟のつどい」参加

2月 坂東ひな飾り展

3月 会報第13号発行



会長あいさつ 「ひとりひとりが幸せな社会のために！」

女性が安心して暮らせる環境を整備することは女性活躍推進の大前提ですが、近隣で大変ショックで悲しい事件、児童虐待死事件が起きてしまいました。この根底には何があるか、子どもへの虐待の陰に母親への暴力があるといわれ、地域・市民・行政として考えていかなければならない大きな問題です。

女性、子ども、高齢者に対する暴力は女性の人権を侵害するものであり、決して許されない行為です。女性が安心して暮らせるよう、毎年11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間であり、全国各所でパープル・ライトアップが実施されています。当会でも市と共催する「いい夫婦の日男女共同参画講演会」の入場者と共にパープルリボンツリーを作り啓発しています。

暴力の根底には強者が弱者を圧する不平等意識があります。平成11年に男女共同参画社会基本法、平成28年に女性活躍推進法が施行され、法の下に男女は平等です。「暴力を我慢するのは勇気ではありません。正しい知識はあなたの武器になる。ひとりで悩まず相談を！」当団体は市民が幸せを享受できる社会の推進に力を注いでいきます。

最後に、各団体並びに関係機関のご協力に感謝申し上げます。今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

会長 服部 恵子



市長あいさつ

坂東市長 木村 敏文

このたび、ばんどう市女性団体協議会会報誌「ばーとなー」が発刊されますことを心よりお慶び申し上げます。また、ばんどう市女性団体協議会の皆様におかれましては、男女共同参画社会の実現に向け、日々ご尽力されておりますことに感謝申し上げます。

現在、人口減少や少子高齢化、情報化の進展、さらには家族形態や個人の価値観の多様化等、社会は大きな転換期を迎えております。このような中、本市では市民との協働をより一層推進し、市民が主役のまちづくりを実現するためにも、男女共同参画の推進は非常に重要であると考えております。

すべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するため、本市といたしましても、女性の就業支援やワーク・ライフ・バランスの理解促進、さらに育児休業取得や働き方の見直し等について、子育てに関する幅広い支援を進めてまいります。

今後とも、一人ひとりが輝き、男女ともにあらゆる分野で活躍できる社会を目指して取り組んでまいりますので、皆様方より一層のご理解、ご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。



8月7日(火) 視察研修

「国立女性教育会館」と「原爆の図 丸木美術館」を見学しました。「国立女性教育会館」は埼玉県嵐山町にあり、男女共同参画社会の形成を目指して活動する独立行政法人です。調査研究やその成果を活用した研修の実施、国内外の団体との交流・連携の推進、女性教育情報センターにおける資料・情報の収集・提供などを行っているそうです。緑の多い広大な敷地に宿泊施設・講堂・音楽室・料理室・テニスコート・打ち合わせ会場など様々な充実した施設がありました。

本館には、男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館である女性教育情報センター、女性教育や男女共同参画施策等に関わった全国的な女性団体や女性の歴史や資料の収集・整理・保存・提供を行う、女性アーカイブセンターもありました。この施設が私たちの近くに存在すれば、時々これらの施設を利用し、貴重な研修が可能ではないかと思われました。

「原爆の図 丸木美術館」は埼玉県東松山市に1967年に会館した美術館です。丸木位里・俊夫妻が実体験を元に、30年の年月を要して描いた『原爆の図』連作が常設展示されています。位里の母で70歳を過ぎて画家になった丸木スマの作品なども常設展示するほか、年4～6回の企画展示も行っているそうです。他にも戦争や公害問題を題材とした作品が展示され、歴史や社会の問題を直視することができそうです。改めて、原爆の悲惨さと生命の尊重を痛感しました。

海老原 宣子



5月23日(水) 総会 (ニューヨーク 視察研修の報告)

坂東市庁舎内、多目的ホールにて、市長、議長、来賓各位のご臨席のもと開催され、参加しました。写真や数字での活動報告を聞いていくなかで、改めて集うこと、育てることの大切さ、今を楽しく生きる術を啓蒙し、未来への指針となるような内容と感じました。

閉会后、「クールいばらき・ジャパン in ニューヨーク」視察研修について報告させていただきました。現地で見聞を広げながら、知事からのメッセージを携えて茨城をアピールし、日本伝統文化の能の披露、抹茶を点て、ふるまいながら日本の心を伝えて来たことを報告し、これからの日本の課題である、少子高齢化等の国連で受けてきたレクチャーの報告もさせていただきました。

先進国の日本の対応が注目されているなか、女性の活躍を期待する声が政治分野にまで、近年法令が施行されるようになりました。

女性の社会進出が多くなってきたなかで、女性が住みやすい居場所づくりは坂東市にとっても大切なのではないかと感じました。

木村 町子



10月5日(金) 市長懇談会

市役所において貴重な時間をとっていただき、市長懇談会を催すことができました。

現在の市財政を考えると新事業は難しい状況にありますが、学童保育の充実、学校のエアコン設置、工業団地の誘致では一部上場の企業もあり、税収の増額や職場環境の整備増加が見込まれます。また、「坂東市医師養成奨学金」制度(数年後開業見込み)、「さわやか子育て出産奨励金」支給、茨城西南医療センター病院との広域連携(坂東市、境町、古河市、八千代町、五霞町)をとっています。

このような事業等の取り組みをしていただいています。今後、少子高齢化社会を迎え、人生100年時代を市民の皆さんが支え合いながら誰もが安心して住める坂東市に育てていただきたく期待しています。

私たち、ばんどう市女性団体協議会では、住み良い、活動できる社会をめざして協力していきたいと思っております。

平田 とし子



8月29日(水) 茨城県女性団体等人材育成研修会

県内各団体の活性化と連携を深める研修会・交流会に28団体が参加し、映画「何を怖れる～フェミニズムを生きる女たち～」を鑑賞しました。女性の権利拡大のため、自らを「フェミニスト」と名乗って目の前の壁と闘って来て、老年期を迎えた今も次の世代にメッセージを送り続けている女性たちのドキュメンタリー映画でした。

私と同世代の彼女たちの、何ものにも怖れない強さにただただ敬服。自分の20代、30代を思い返しても何と自分は世間知らずでノー天気だったかをまざまざと思い知らされました。彼女たちがいたからこそ今の女性の権利、地位があることを改めて認識させられました。

その後の交流会は、大井川知事、当日公務で県庁におられた木村坂東市長の同席も得て、服部県女性団体連盟会長を中心に多くの団体の皆様と軽食を頂きながら懇談をしました。

若い女性たちに期待したいと思えました。何ものにも怖れない強い意志を持って社会を築いてほしいと。

山田 外志枝



11月30日(金) 茨城県女性団体連盟「連盟のつどい」

映画監督 松井 久子さんの実体験のお話は、多くの女性たちの共感を得たと思います。結婚・仕事・社会との関わりの中で、“女だから”と虐げられた彼女の半生、その過酷な状況を乗り越えてきたストーリーに、私は感動しました。

いわゆる「ジェンダーの問題」は未だに根強く、改めて男も女も共に「人間の尊厳」を大切にしていかなければと思えました。

市川 妙子

